

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号	B0901-2	事務事業名	社会参加促進事業				事業期間	昭和63年度以前	～	令和8年度以降								
実施計画事業																		
実施計画事業以外の事業	○	担当部	福祉部				担当課・担当係	障がい福祉課障がい福祉係										
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編	基本 施策	9	展開 方向	1	事業・予算区分	一般事業	款	3	項	1	目	2	大	5	中	5
	根拠法令 ・個別計画	心身障害者福祉推進事業運営要綱 小牧市障害者雇用促進奨励金支給要綱 小牧市身体障害者用自動車改造費助成事業実施要綱 小牧市障害者自動車運転免許取得費助成事業実施要綱					対象 (何・誰を対象に)	・障がい者を雇用する雇用主に対して雇用促進奨励金を支給する ・障がい者が運転免許証の取得や自らが所有し運転する自動車を取得し、その自動車を改造する場合の経費の一部を助成する										
	目的 (何のために)	・障がい者(児)にスポーツ・レクリエーションを通じ、積極的な性格と協調精神を養うとともに、住民の積極的な協力により障がい者への理解等を促進する ・障がい者の自立の促進や社会活動への参加を促進する					内容 (どのような方法で)	○令和5年度の実施内容 ・障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどいの開催(11/12 パークアリーナ 参加者(ボランティア含む)273名 ・雇用促進奨励金 33社 62人 ・自動車改造 7件 運転免許取得 10件 ○令和5年度歳出済額(22,181千円) ・障害者福祉推進事業委託料(12節 委託料 994千円) ・障害者福祉推進事業負担金(18節 負担金、補助及び交付金 137千円) ・障害者雇用促進奨励金(同上 19,470千円) ・障害者自動車改造助成費(19節 扶助費 1,580千円) ○令和6年度当初予算(24,156千円) ・障害者福祉推進事業委託料(12節 委託料 996千円) ・障害者雇用促進奨励交付金(18節 負担金、補助及び交付金 21,960千円) ・障害者自動車改造助成費(19節 扶助費 1,200千円)										

(2)事業費

事業費	項目			単位等	R2	R3	R4	R5	R6
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	20,930	19,185	20,250	21,807
国・県支出金				-		373	373	373	
その他									
計(A)			20,930	19,558		20,623	22,180		
対前年比		%	—	93.44%	105.45%	107.55%			
予算額		千円	23,800	22,119	23,263	24,185	24,156		
人件費	正規職員			人	0.1	0.1	0.1	0.1	
	正規職員(平均賃金)			千円	749	749	749	749	
	その他職員			人					
	その他職員(時給×時間)			千円					
	計(B)			千円	749	749	749	749	
事業費合計(C=A+B)				千円	21,679	20,307	21,372	22,929	

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	9	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	ハローワーク春日井管内における企業の障害者雇用率							
	展開方向	1	2	「障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどい」への参加者数と参加ボランティア人数							
			3								
指標	指標ほか		単位		R2	R3	R4	R5	R6		
	成果指標	ボランティア参加者アンケートのうち「参加して良かった」と回答した割合	%	目標	-	-	-	-			
				実績	-	-	94	91			
				目標							
				実績							
	活動指標	「障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどい」の開催	回	目標	-	-	-	-			
				実績	-	-	1	1			
				目標							
				実績							
	単位事業あたり	受益者数(a)		人	7,059	7,288	7,240	7,632			
受益者あたり事業費(=C/a)		円	3,071	2,786	2,951	3,004					

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持(改善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの				
	事業の達成状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者(児)スポーツレクリエーションについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2、3年度は中止したが、令和4年度から再開した 障害者雇用促進奨励交付金を交付することで障がい者の雇用機会の拡大を図り、障がい者の自立の促進を図ることができた 運転免許取得や自動車改造に係る費用を助成することにより、社会活動への参加を促進することができた 	今後の実施内容・今後の改善	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどいを開催する 障害者雇用促進奨励交付金については、補助金見直しの対象であることから、支給対象者・金額等の見直しを行っていく 引き続き、運転免許取得や自動車改造に係る費用の助成を実施していく 			
	改善の有無	有		千円	節	細節	細々節
これまでの改善内容	障害者の雇用機会の拡大を図るため、障害者雇用促進奨励金について、月額単価及び支給期間を拡大した	事務事業評価					

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

		評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	障がい者の自立や社会参加への促進が必要である
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	一部の住民に影響がある	障がいに対する理解を深める機会が低下することにより、障がい者の社会参加への場が少なくなることで、障がい者やその家族、障がい者を雇用している事業主に影響がある
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	削減の余地がある	障害者雇用促進奨励金については、支給対象者・金額等を見直して事業費を削減する
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	障がい者(児)スポーツレクリエーションの開催については、小牧市社会福祉協議会に委託している
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	受益者負担が無いことから適正である。